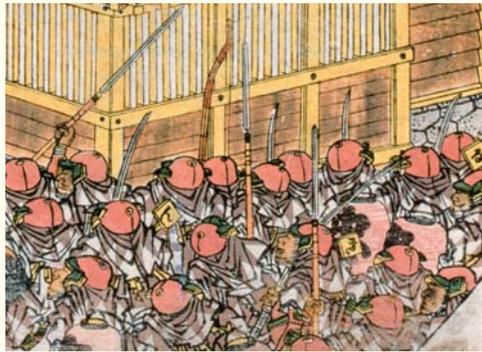


【作品の見どころ】



《図一》白抜きで表現した雪

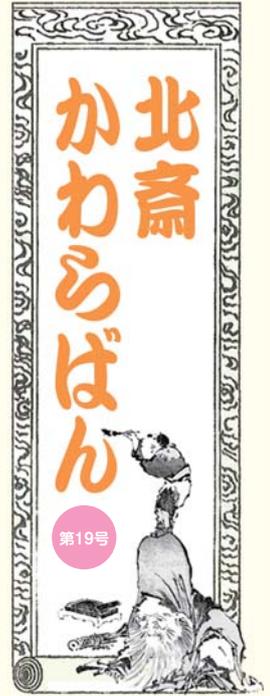


《図二》居並ぶ浪士

北斎が四十七歳のときに出版した「仮名手本忠臣蔵」シリーズのうちの一図です。吉良邸を俯瞰構図で描いており、薄墨であらわされた夜空と白抜きで表現した雪《図一》の下、静寂に包まれた吉良邸の門を、赤穂浪士たちが今しも打ち破ろうとする様子を捉えています。画面下方には居並ぶ浪士《図二》の姿が見えます。四十七士にはやや足りませんが、できる限り多く描こうとしたのでしよう。角度に変化を付けて、ひしめく動きや迫力を感じさせ、北斎の腕の良さをうかがわせます。

北斎と忠臣蔵

北斎の曾祖父は、討入りの際に吉良上野介を守って奮戦した小林平八郎であったと、北斎自ら語っていたそうです。また、吉良邸跡は、北斎が幼少期に養子に入ったといわれる中島家の屋敷があつた場所であり、現在、墨田区両国三丁目の本所松坂町公園にその一部を残しています。



【発行】
墨田区区民活動推進部
文化振興課
北斎美術館開設担当
(墨田区役所1階)
☎03-5608-6115
【編集協力】
(公財)墨田区文化振興財団
北斎事業課



「仮名手本忠臣蔵 十一段目」(大判錦絵) 文化3 (1806)年頃

すみだ北斎美術館（平成27年度開館予定） の建築設計がまとまりました

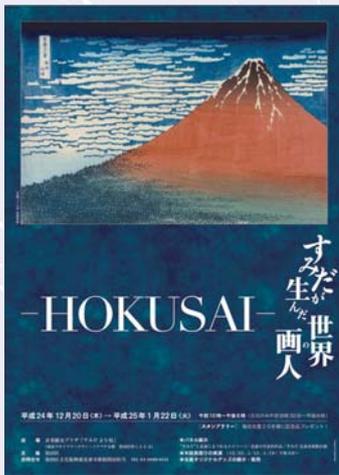
【建築概要】

- ・建設地 墨田区亀沢二丁目7番（緑町公園内）
- ・構造 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）
- ・延床面積 約3,327㎡
- ・主な諸室

4階	常設展示室（約190㎡）、 企画展示室（約200㎡）、展望ラウンジ
3階	企画展示室（約390㎡）
2階	収蔵スペース、事務室
1階	エントランスホール、図書室、 講座室、ミュージアムショップ
地下1階	ボランティア室、授乳室



「すみだ北斎美術館」の外観イメージ



すみだが生んだ世界の画人
〜 HOKUSAI 〜 開催中

産業観光プラザ「すみだまち処」で、「すみだ」と北斎にまつわるエピソードなどを紹介するパネル展示や、「すみだ発！北斎オリジナルグッズ」の展示・即売などを行っています。また、スタンプリーパー参加者（毎日先着二十名）に記念品をプレゼントします。

ぜひ、お立ち寄りください。

【会期】

平成二十五年二月二十二日（火）まで

【時間】

午前十時〜午後六時（二日のみ
午前九時三十分〜午後六時）

【会場】

産業観光プラザ「すみだまち処」
（東京スカイツリータウン®・ソラマチ
五階 墨田区押上一丁目1番2号）

北斎のこぼれ

『富嶽百景』初編

跋文



北斎が七十五歳のときに出版した絵手本『富嶽百景』初編の跋文（書物の終わりに記す文章）には、生涯を絵の道の追求に捧げた北斎の決意が述べられています。

六歳の頃から絵を描いてきた北斎は、七十歳以前に描いた絵は取るに足らないもので、七十三歳にしてようやく動植物の骨格や出生を悟ることができたと述べています。そして、八十歳ではさらに成長し、九十歳で絵の奥意を極め、百歳で神妙の域に到達し、百数十歳になれば一点一格が生きているようになるだろうと、百歳を超えてもなお絵師として向上しようとする気概を語っています。